平成27年度 学校自己評価中間報告書

茨城町立広浦小学校 校長 石毛 常己

1 今年度の取組の概要

- ○基礎・基本の定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力を育み、児童が主体的に学び、分かる楽しさ を味わえる授業づくりに努める。
- ○健康でたくましく生活していく基礎となる学校体育・安全教育・健康教育の充実に努める。
 ○学校経営や学年・学級経営、学校行事、その他の教育活動について積極的に情報を発信するとともに、保護者・地域の声を学校経営に生かし、保護者・地域から信頼される地域とともにある学校づくりに努める。
 *達成度(A:+分に達成 B:おおむね達成 C:達成せず D:課題が残る)
 *実施結果の数に、AとBの合計の割合(%)、【 】は目標値、(児)は児童、(保)は保護者、
- (教)は教職員の値(%)

◎ 組織目標 1 に	こついての具体的な取り組み		
組織目標 1	自ら学ぶ意欲の向上を図り、児童	童相互の学び合いの充実に努める。	
達成目標	具体的な方策	実施結果	対応策
学び方及び基礎・基本の徹底を図る。		 ・学習に一生懸命取り組んでいる【90%】100%(児)100%(教) ・ノート指導の充実 100%(教)100%(保) ・学校全体の支援体制の整備【90%】100%(教) ・広浦方式:国語,算数等で実施・国語力の育成:言語活動についての国語の校内研修を実施 	・ 期た一寸児良理意りにさカー 作場に下る童い解欲でしらートる童い解がでしらードをとと一た高るい、をとと一た高るい、をにドー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
学ぶ意欲を高め、児 童が主体的に取り組む ことができるように指 導法の工夫改善を図る。	○できた喜び分かる楽しさを味わえる授業の推進に努める。 ・学び合い学習,問題解決的な学習,体験的な学習を取り入れた授業の工夫・視聴覚機器の活用・教材研究の充実(板書計画の作成)・つけたい力を明確にした授業の工夫・月例テストの工夫改善を図る。○相互授業参観の実施(一人2回) ○自主的なスキルアップ研修に努める。	 ・先生は分かる授業に努めている【90%】100%(児)100%(教)100%(保) ・全国学力:県平均,全国平均を上回る ・外部講師を招聘しての校内研究協議会開催 	しを・・を授て・応しをく・討業しで共てり、しつ明業い間が方育。授会参、授有い己なたに実。手れ聞し 構相観校改を。 まれ聞し 横相観校改を。 のるきて 想互を全善図 がが 検授通体のったし 反話方い 検授通体のった
家庭と協力して家庭 学習の充実を図る。	○家庭学習の習慣化を図る。 ・家庭学習ノートの点検を通し て、家庭学習の仕方をきめ細 かに指導する。 ・家庭学習の手引きの改善と、 保護者への啓発を図る。	・家庭学習の手引きの活用100%(教) ・家庭学習の定着率【95%】98%(保) 100%(教) ・校長室だより等での啓発,保護者会 での啓発	・保護者会等で保護者への 啓発を図る。 ・児童に応 人の個に応支援 の継続を図る。

◎ 組織目標 2 についての具体的な取り組み				
組織目標 2	心の居場所となる学級づくり及る	び道徳的実践力を高める教育活動の	推進を図り、	
	豊かな心の育成に努める。		·	
達成目標	具体的な方策	実施結果	対応策	
定着と規範意識の高揚,	○日本一のあいさつ運動の推進を図る。○場を清め・時を守り・礼を正す指導の充実○交通ルールの厳守を図る。○「温かさ」と「厳しさ」をもった指導の充実	 ・元気なあいさつ【90%】95%(児) 98%(保)100%(教) ・交通事故発生【0件】0件(朝の会や帰りの会、集団下校等での交通安全の呼びかけを随時実施) ・交通安全教室の実施:5月の連休前の県自動車学校及び夏休み前の校内の2回実施 	・月初めあるかり運んがしりがしりがしりがしりがしりがしりがしますがしますがしますがしますがしますがしますがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがりがり<li< th=""></li<>	

心と夢を育む教育活動及び環境美化活動の充実を図る。	○読書活動の推進と環境整備を図る。 ○道徳の授業の正夫の値観とでは関連を通りのでででででででででででででででででででででででででででででででででででで	・毎朝の登校指導時に随時指導し、元 気なあいさつができるようになって きた。(やまびこあいさつ) ・自己肯定感を味わうことができるように、事前指導を充実し、成功体験 となるよう指導の充実を図った。 ・読書が好における道徳の授業公開 【年1回以上】 ・学校へ行くのが楽しい【90%】 97%(児)98%(保)100%(教) ・福祉施設訪問、福祉体験【年1回以上】5,6年は実施(レイクヒルひぬまでのが、 ・縦割り班が・集会活動の実施により、思いやりの心を伸ばしている。 ・幼稚園、中学校との交流活動の推進 が中学校連携協議会実施(全職員で参加・協議) ・いじめの発生件数【0件】 ・人権意識の害揚:人権集会「スマイルハート集会」の実施(いじめの発生件数【0件】 ・人権意識の推進【90%】100%(保)100%(教)毎月のPTA奉仕作業、親子三代奉仕作業の実施 ・社会性を身につける【90%】100%(保)	各己で定い ・をく・親ャ等家推・動進いなのの保相て応教理校の力く学評意着く 読確。読子レを庭進環のをいがあト護談,し職解組チを。 書保 書読ン計でを境更図じるるラ者に適さ員の織一高でカ付図 のし 月書ジ画の図美なるめ可児ブかに切らのもとムめは一けっ 時て 間や読し読る化る。に能童ルらつにに共とし対ては一けっ 時で 間や読し読る化る。に能童ルらつにに共とし対て自ドとて
心の居場が、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	○「とめののっ支す実係図図各)童図大流己家童。	したりして、温かく接している【90%】99%(保)100%(教) ・「温かさ」と「厳しさ」をもった支援【90%】100%(教) ・地域や学校の特色を生かした教育活動・行事がある【90%】100%(保) ・学級の集団づくり【90%】100%(教) ・学年・学級の環境づくり【90%】100%(教) ・学校生活が楽しい【90%】97%(児)98%(保) ・生徒指導情報交換会【月2回】	・生「体自性・活面児童のしを・役業をと指具・人環心係に員情連図・をか土教組、全活自験発を日動を童と交,深子と,支にす現児を境情の努と報携るあ通なの職んてにらを性育々,通同教流相めど。体援よ児化童取や,実め保やの。らし学構員でのおや通・ての生し士師を互るもな験すり童図一り内人態,護行深 ゆて校築でい学けるし主る教活て,の密理。がる活る,像る人巻面間把教者動化 る「」に取く。校る」て体 育場,児心に解 主授動こ目の。一く的関握職とのを 場温風全り

○ 組織目標 3についての具体的な取り組み			
組織目標 3		児童の体力向上への意欲と運動への	興味関心の高
達成目標	具体的な方策	実施結果	対応策
基礎体力と運動技能の向上をめざす。	○体育の授業の工夫改善と運動 量の確保に努める。 ・運動の場の工夫を図る。 ・業間運動と外遊びの励行を図 る。 ○体育的行事を通して,運動へ の関心・意欲を高め,運動に 自ら進んで親しむ態度の育成 に努める。	100% (教) 100% (保) ・体力テストでA+Bの割合【70%】 83%, D+Eの割合【6%】3% 全校での取り組みで大幅に向上した。 ・体育の授業は楽しい【90%】100%	・て(ッる・外すこ毎間の力努・て(ッる・母遊るをの力をにより・て(ッる・母遊るののののののののののののののののののののののののののののののののののの
安全指導の充実を図る。	の育成を図る。 ・避難訓練, 防犯教室, 交通安全教室の工夫に努める。 ・地区別下校時の安全指導と通学路の安全点検に努める。	理のために, 防犯教室等様々な対策を実施【90%】98%(保)100%(教)・児童の行動実態を把握して, 安全指導に努める。【90%】100%(教)・交通安全教室を県自動車学校で実施・自転車の安全な乗り方を中心に, 夏休み前に校内安全教室を実施・火災に関する避難訓練を実施・毎日登下校指導を実施(付添い下校)	実施していく。 ・ 実施していく。 ・ 下安にには、
健康への意識の高揚 と望ましい食習慣の形 成を図る。		【年3回】1学期実施,2・3学期も実施予定・保健だより,給食だよりの定期的発行【月1回】と随時のお知らせ実施(感染症等):実施している・早寝早起き朝ご飯の習慣化早寝早起き【80%】100%(児)96	・家焦指さい・家焦指さい・なたまで・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない・ない

(●:成果 ◆:課題) 1学期の成果と2学期以降に向けた課題

- <学力の向上について>
- ○少人数指導,広浦方式による友達と考えを交流し合う話合いの充実や,月例テストの実施などにより, 基礎基本の定着が図られた。
- ○付けたい力を明確にした授業を展開するために,学習課題を吟味することで,授業の中で児童の主体
- のな学びが多くの場面で見られる。 〇昨年度、課題としてあげ取り組んだノート指導の充実のための「いいねノート」により、友だちのノートを参考にした、思考の過程が見えたり友達の考えをメモしたりするようなノートづくりをしてい る児童が増えつつある。さらに、ノートに関する自己評価カード等を活用し意欲づけを図っていく。
- ◇読書活動の推進や家庭学習の充実について、家庭との連携を図りながら、読書や家庭学習の習慣の定 より一層推進していく 着に向けて,
- <豊かな心の育成について>
- ○小規模校の特性を生かし、一人一人が活躍する場面、全体の前で発表する機会が多い。 ◇長期の休み明けや週明けの登下校時の「元気なあいさつ」にやや課題が見られる。元気なあいさつに対して意識したり習慣にしたりすることができるよう、月初めの1週間、登校班班長に「あいさつ運動」の腕標とを着用するようにしていく。他の児童についても、自己評価カードを活用することで意識 づけと習慣化を図る。
- ◇学校行事等のねらいを明確にし、児童の自主性・自発性を育てていく。
- ◇児童一人一人が、自分の思いを表現したり、与えられた役割に体して自信をもって果たすことができ る機会を設ける。
- ◇児童が主体的に活動できるような集会等を中心に人権啓発活動を実施し、思いやりの心の育成を図る。 ◇地域の人材を効果的に活用した体験的活動を実施し、奉仕の心や感謝の心の育成を図る。
- <体力の向上について>
- ○体育の学習や運動に関する児童の興味関心、校外の体育的行事等への参加意欲の高まりが見られた
- ◇業間活動に投力アップタイム,にこにこタイム, 3 分間走等を計画的に位置づけ,運動の機会の確保 と意欲の向上に努める。
- 〉マラソンタイム、なわとびタイムを実施し、持久力の向上を図る。

- <地域や家庭との連携について>
- ○各種たよりの発行により積極的な情報発信を行った。(校長室だより、学校だより、学級だより、保 健室だより等)
- ○計画的に地区区長さん宅や高年者クラブ代表宅を訪問し、地域の思いや願いなどを直接伺い、学校経営上の参考にすることができた。地域との連携がさらに深まってきている。 ◇学校関係者評価委員や保護者、地域との連携の下に学校運営を進めている。引き続き、学校評価や教
- 員評価を活用した学校教育目標の達成に向けた学校と家庭と地域が連携した取組を進めていく。 ◇これまで以上に安全安心な学校づくりに向け、学校安全ボランティアや関係機関との連携を深め、協
- 力体制を作っていく。
- ◇保護者の声を傾聴し、真摯に対応していくとともに、地域とともにある学校づくりに努める

保護者や地域への皆様へ

<元気なあいさつについて>

学校評価に関するアンケート等で「通学路でのあいさつの声に元気がない」とのご意見をいただきま した。本校では、昨年同様、遠くの人にも届くような、そして、あいさつの声が響き合う「やまびこあいさつ」を勧めています。しかし、長期の休み明けや週明けなどには、児童に元気のない様子が見られ、あいさつの声も小さいことも少なくありません。そこで、2学期より、元気なあいさつを意識したり習慣にしたりすることにつながるよう、月初から1週間、登校班班長に「あいさつ運動」の腕章者まで開 じめました。保護者や地域の皆様には、児童が元気にあいさつをする姿を見て頂くと共に、これまで同様、児童へのあいさつや声かけ、見守りをお願いいたします。

<読書活動の推進について>

学校では、豊かな心の育成や文章を読み取る力等をつけるためにも読書活動を推進しています。児童は、朝の読書などで読書活動を進めています。ご家庭でも、週末等に家族そろって読書を推進していた だけることをお願いします。この家庭での読書活動の推進については、『家読(うちどく)』とも呼ばれ、 県内でも推進されています。

| 保内でも推進されています。 | <地域や家庭との連携について> ・保護者や地域の皆様には、これまでにも運動会や花苗の仮植・定植、親子三代奉仕作業、PTA奉仕 作業等でたくさんのご協力いただきました。ありがとうございました。皆様のお力添えによって、教育 環境が整備され、児童は充実した中で学校生活を送ることができています。さらに、皆様の姿から児童 には感謝の心や奉仕の心も育ってきています。2学期には、涸沼浄化キャンペーン歩く会やしいの木ま つり等の行事が予定されています。引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします。 ・児童の登下校の安全確保や基本的な生活習慣の育成等で大変お問話になっております。皆様のおかげ

で、本校は、欠席者がほとんどなく(9/10現在:授業日数79日のうち欠席者なしが61日)、児童は心身共に元気に登校をしています。さらに、朝ご飯の欠食児童もおりません。また、大きなけが等もなく、学校生活を送ることができています。今後とも、子供達の健全な育成のためのご支援をお願いいたしま

・児童の安全確保に向け,不審者対応として「一人で外出しない」,交通安全対応として「自転車乗車 時のヘルメット着用」を重点課題として指導してまいります。皆様のご理解、ご協力をお願いいたしま